

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

(' 2 1 ウォシュレット一体形 取替機能部 (T C F 9 A 0 4) 用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

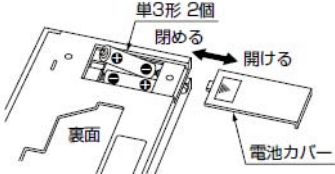

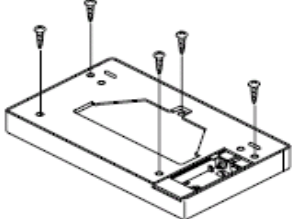
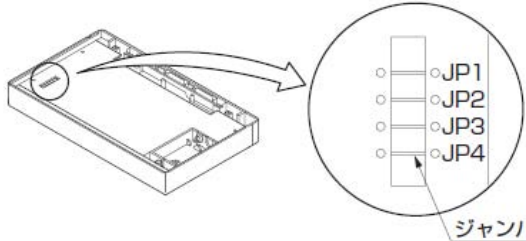
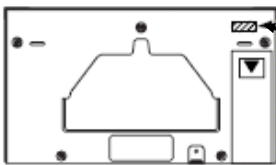
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正規品	タイプ1 (特1)	タイプ2 (特2)	正規品	タイプ1 (特1)	タイプ2 (特2)
タイプ3 (特3)	タイプ4 (特4)	タイプ5 (特5)	タイプ3 (特3)	タイプ4 (特4)	タイプ5 (特5)

* 設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 * 作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

<<設定方法>>





手順	リモコン特殊コード切り替え方法 (リモコン側)																																																								
1	<div data-bbox="229 271 576 322" style="border: 1px solid orange; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">乾電池のはずしかた</div>  <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <div data-bbox="229 607 576 658" style="border: 1px solid orange; padding: 2px; margin-top: 10px;">リモコンの完全放電</div>  <p>水勢ランプがつかなくなるまで、「おしり洗浄」スイッチを何度か押す。</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <div data-bbox="906 427 1038 501" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。 </div> <p>③「おしり洗浄」スイッチを押して、水勢ランプが消えていることを確認する。 (水勢ランプが確実に消えるまで「おしり洗浄」スイッチを押し続けずに作業を進めると、特殊コードが切り替わりません)</p>																																																							
2		<p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <p>◎ : つながったまま × : 切断</p> <table border="1" data-bbox="209 1559 999 1765"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	<div data-bbox="906 1256 1038 1330" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ご注意!! </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください ◎ ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください ◎ 品番によりジャンパー線の位置が異なります <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																															
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																															
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																															
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																															
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																															
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																								
5	 <div data-bbox="580 1995 858 2130" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

手順	リモコン特殊コード切り替え方法（ウォシュレット本体側）																																																								
6	ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込む。 （ノズルがイニシャル動作（伸縮）する。）																																																								
7	ウォシュレット本体のイニシャル動作終了後（電源が「入」になってから2分以内に）、リモコンのスイッチを「10秒以内に5回」押します。																																																								
8	<p>ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅します。 （電子音「切」設定時は電子音が鳴らないため設定状態は下表の点滅に従って確認ください。）</p> <p>本体表示部</p> <p align="center">★…緑点滅 ●…橙点滅 ×…消灯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><運転> </td> <td align="center">★</td> <td align="center">×</td> <td align="center">★</td> <td align="center">×</td> <td align="center">★</td> <td align="center">×</td> <td align="center">★</td> <td align="center">★</td> <td align="center">×</td> <td align="center">★</td> </tr> <tr> <td><便座> </td> <td align="center">★</td> <td align="center">★</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">★</td> <td align="center">★</td> <td align="center">×</td> <td align="center">★</td> <td align="center">★</td> <td align="center">×</td> </tr> <tr> <td><節電> </td> <td align="center">★</td> <td align="center">★</td> <td align="center">★</td> <td align="center">★</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">●</td> <td align="center">●</td> <td align="center">●</td> </tr> <tr> <td><温水> </td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> </tr> </tbody> </table> 			標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	<運転> 	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★	<便座> 	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×	<節電> 	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●	<温水> 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																															
<運転> 	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★																																															
<便座> 	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×																																															
<節電> 	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●																																															
<温水> 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																															
9	<p>ウォシュレット本体の側面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> 																																																								

- ◆ ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
- ◆ 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）

【参考】

■ 下記の操作で現在の連立設定状態を確認することができます。

- ① リモコン  を10秒間押す
- ② リモコンランプ全点滅
- ③ リモコン「水勢  」+「水勢  」を同時押しする
- ④ ウォシュレット本体ランプ5秒間点滅（『手順8』の表に従って点滅します。）
- ⑤ リモコン  を押す